

まほろば秦野通信

平成28年11月14日

秦野市市長公室広報課

タイトル	第30回夕暮記念こども短歌大会表彰式について
When (いつ)	11月26日(土曜日) 午後1時半～3時
Where (どこで)	秦野市文化会館(平沢82) 展示室
Who (だれが)	秦野市教育委員会・秦野市立図書館
What (なにを)	第30回夕暮記念こども短歌大会表彰式
How (どのように)	<p>9月16日に作品応募を締め切り、整理したところ、市内の小・中学生から2,567首に上る作品が寄せられました。</p> <p>歌人の村岡嘉子氏による選考の結果、50首の優秀作品が決定しましたので表彰式を開催し、賞状の伝達及び選者による講評を行うものです。</p> <p>入賞作品は、別紙のとおりです。</p>
Why (なぜ)	<p>本大会は、郷土の歌人、前田夕暮(まえだ、ゆうぐれ)を顕彰し、その業績を称え、市内の小・中学校の児童・生徒に短歌に親しむことを通じて豊かな人間性を育むとともに、ふるさと秦野の文化、特に文学遺産に対する関心、興味を高めることにより「短歌のふるさとづくり」事業の推進のために実施しているものです。</p>
過去の実績	<p>昭和62年度から毎年開催しており、本年度で30回を数え、過去の応募総数は5万首を超えています。</p> <p>なお、平成19年度以降は、秦野中ロータリークラブの協賛をいただき、参加賞の提供などの協力を得て実施しています。</p>
今後の取り組み	来年度以降についても、引き続き開催していく予定です。
問い合わせ	図書館庶務奉仕担当 担当：山口 電話0463(81)7012

第三十回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 小学生の部

No.	賞名	作	品	学校名	学年	氏名
1	市長賞	夏空の大きな空に花が咲く種から咲いた空の花たば		鶴巻	4	荒井 京介
2	教育長賞	五重塔スカイツリーと同じしくみ昔のつくりが今につながる		渋沢	6	丸山 杏実
3	秦野中ロータリークラブ賞	人と人つなが手と手はあたたかい助け合うこと見つめ合うこと		堀川	6	上野 由理奈
4	第三十周年記念特別賞	努力はね力に変わる サッカーはメンタル強くゴールを目指す		南	6	市田 隼士
5	村岡嘉子選者賞	向日葵が太陽の位置教えてる くもりぞらは大つきらい		末広	6	船橋 理実
6	佳作	カブト虫ヨロイをもったこわいやつツノをふつてて無敵のポーズ		東	5	高橋 優誠
7	佳作	騎馬戦で勝負をつける運動会口上述べて突き進む騎馬		南	6	栢沼 幸輝
8	佳作	夏祭り夜空に上がる光る花散りゆく時間はなお美しく		広畑	5	遠藤 心虹
9	佳作	夏の日のがやく海と波の音目からはなれず耳からはなれず		南が丘	5	赤尾 優実
10	佳作	いろは坂いろはにほへと数えてく秋の紅葉思いながらに		堀川	6	門馬 優也
11	佳作	鼓笛隊六年間のしめくくり求め続けた最高の音		堀川	6	西岡 紬
12	佳作	夏の夜散りゆく花火美しく暑い夏の日終わりを告げる		上	5	府川 蓮
13	佳作	田の中に列車が一両通ったよ青空の中緑の中に		末広	6	三堀 茉莉愛
14	佳作	サッカーはドリブルパスで息合わせシュートを決めて勝利をつかめ		渋沢	4	菅谷 陽和
15	佳作	秋風にコスモスゆれて思い出す大好きだったモモとの散歩		北	6	小清水 茉央
16	佳作	夏の朝まどを開けたらほややかなやさしい風がおじやまします		末広	6	磯野 莉子
17	佳作	夏休みきれいな青い空を見るふしぎな形の雲がやってくる		本町	5	坂間 莉玖
18	佳作	江戸の町からくり迷路で迷いあり迫力まんさい 華厳の滝		南が丘	6	岡部 美桜
19	佳作	夏祭り花火がドンドン音鳴らす きれいな空をごらんください		末広	6	木下 美季
20	佳作	楽しみだあきのだいごみ運動会力を合わせ目指すは優勝		東	6	加藤 颯真
21	佳作	柔道後は任せた大将に二対二でくる緊張感		南	6	小泉 藍生
22	佳作	応援団大きな声と笛つかいみんなの気持ちひとつにするぞ		堀川	5	川崎 輝
23	佳作	七色のかき氷食べ花火見る私の手にも花火咲いてる		本町	5	三浦 陽南
24	佳作	サラサラとゆれる波の音を聞き楽しい時間 時よどうか止まっておくれ		東	6	高橋 菜乃
25	佳作	悔しいな徒競争で二位だった帽子気にして一位のがした		南	6	森田 幸太郎

第三十回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 中学生の部

No.	賞名	作	品	学校名	学年	氏名
1	市長賞	七分間思いを全部音にのせ一音入魂金賞めざす		南	3	小出 和
2	教育長賞	震える手強く握って目を閉じる応援を背に水へ飛び込む		北	3	今村 悠奈
3	秦野中ロータリークラブ賞	ミスをして落ちこんでるとドンマイとはげましてくる仲間がいる		南	1	斉藤 美帆
4	第三十回記念特別賞	歓声と期待の募るマウンドで大きく見える親友のミット		北	3	岸本 廉
5	村岡嘉子選者賞	海の中四季の日ざしが色々と 海も季節をあじわっている		南	1	山口 優香
6	佳作	頼朝の九百年もの時を経て今につがれし源氏の心		東	2	桐山 竜弥
7	佳作	気持ち込めずと奏でたあの曲は君と過ごした夏の証だね		南	3	遠藤 佳音
8	佳作	江ノ電の窓から見える青い海白い波のパフォーマンスだ		東	2	後藤 明日香
9	佳作	暗がりになきなひかり差しこんで託してみよう願いをひとつ		東	2	加藤 真由
10	佳作	夏の夜散りゆく花火明日には楽しい瞬間も記憶となつて		本町	2	村永 実里
11	佳作	横浜の街にたたずむ街路樹木もれびにゆれる自らの影		西	2	柳澤 和輝
12	佳作	母さんが今度の試合見に行くと僕の背中におもりをのせた		鶴巻	2	有山 燦吾
13	佳作	鎌倉の小町通りは人の波 波に押されてかじとり利かず		南が丘	2	佐藤 蒼生
14	佳作	夕暮れの見えなき道を進みながら友との絆深まる予感		北	3	久保寺 隼也
15	佳作	雲の上部活帰りに見えるのは消えかかっている七色の虹		本町	3	野村 ののか
16	佳作	もどせたらあの後悔をなくせるかそんな自分が苦しくなつて		南	2	野村 朱里
17	佳作	真剣にうなづいてくれる先生の笑顔にいやされ明日もがんばる		大根	3	関野 珠李亜
18	佳作	次こそは音の波に乗ってやる 音楽会は沈没しない		北	3	長瀬 あみ
19	佳作	木もれ日が差しこむ水で清めるは冷たい銭と熱い願望		南が丘	2	岩永 林太郎
20	佳作	空を見る雲が動いて青い空 宇宙へとんでしまえそうだよ		大根	1	全田 有
21	佳作	江ノ電は海の潮風新緑を浴びながら行く緑の車体		東	2	谷口 大翔
22	佳作	大山にきりがかかつてずつしりと白くぼやけて風呂上りかな		渋沢	2	松本 創平
23	佳作	江ノ電の窓からあふれる波を越えきぶんはかもめもうすぐ鎌倉		東	2	鶴谷 葵利香
24	佳作	夏祭りたくさん遊んだテスト前次に来るのは後の祭りだ		鶴巻	2	荒井 仁詠
25	佳作	本棚に増える喜びこの場所は部屋の中でも僕だけの書店		南	3	富永 淳紀